



JAPANESE A1 – HIGHER LEVEL – PAPER 2
JAPONAIS A1 – NIVEAU SUPÉRIEUR – ÉPREUVE 2
JAPONÉS A1 – NIVEL SUPERIOR – PRUEBA 2

Wednesday 18 November 2009 (morning)

Mercredi 18 novembre 2009 (matin)

Miércoles 18 de noviembre de 2009 (mañana)

2 hours / 2 heures / 2 horas

INSTRUCTIONS TO CANDIDATES

- Do not open this examination paper until instructed to do so.
- Answer one essay question only. You must base your answer on at least two of the Part 3 works you have studied. You may include in your answer a discussion of a Part 2 work of the same genre if relevant. Answers which are not based on a discussion of at least two Part 3 works will not score high marks.
- You are not permitted to bring copies of the works you have studied into the examination room.

INSTRUCTIONS DESTINÉES AUX CANDIDATS

- N'ouvrez pas cette épreuve avant d'y être autorisé(e).
- Traitez un seul sujet de composition. Vous devez baser votre réponse sur au moins deux des œuvres de la 3^e partie que vous avez étudiées. Le cas échéant, vous pouvez inclure dans votre réponse une discussion sur une œuvre du même genre littéraire étudiée dans la 2^e partie du programme. Les réponses qui ne sont pas basées sur au moins deux des œuvres de la 3^e partie n'obtiendront pas une note élevée.
- Vous n'êtes pas autorisé(e) à amener des exemplaires des œuvres que vous avez étudiées dans la salle d'examen.

INSTRUCCIONES PARA LOS ALUMNOS

- No abra esta prueba hasta que se lo autoricen.
- Elija un tema de redacción. Su respuesta deberá basarse en al menos dos de las obras estudiadas en la Parte 3. Se podrán hacer comentarios sobre una obra de la Parte 2 del mismo género, si fuera necesario. Las respuestas que no incluyan una discusión sobre al menos dos obras de la Parte 3 no recibirán notas altas.
- No se permite traer a la sala de examen copias de las obras estudiadas.

次の問題から一つを選んで、エッセイ（小論文）を書きなさい。エッセイを書くにあたっては、授業で学習した Part 3（ジャンル別の部門）の中の、少なくとも二作品に言及しなさい。なお、Part 3 の作品に加えて、Part 2（精読の部門）の同じジャンルの作品を扱ってもよいが、あくまでも Part 3 の作品を主にしてエッセイを書くこと。

物語・小説

1. 小説や物語の作品においては、視覚や聴覚を用いたイメージがくりかえされることで、主題が鮮明になることが多くあります。学習した二つ以上の作品から例をあげて、どのようなイメージが用いられているか、そしてそれが作品の主題とどのように関連しているかについて、考えるところを述べなさい。
2. 作品の中で、主人公が意外な事実を発見したり、ある理解に到達したりする瞬間が描写されていることがよくあります。学習した二つ以上の作品から例をあげ、そのような発見の意味について考えるところを述べなさい。

随筆・評論

3. 自己の内面を記録するという体裁を持つ作品には、自らを反省し、自己の向上をめざすものが多くあります。学習した二つ以上の作品から例をあげ、そうしたことが作品に与える効果について論じなさい。
4. 高度で複雑な思想内容であっても、ごく普通の読者が理解できるような^{やさ}しい言葉で表現されたものが随筆として魅力があるという意見があります。学習した二つ以上の作品をこの角度から検討し、それぞれの作品にどのような魅力があるかについて論じなさい。

詩歌

5. 学習した作品において、詩の最初の一行または冒頭の部分と、その詩の最後の一行または結末の部分との間にはどのような関係があると思いますか。またその関係は詩全体にどのような効果をもたらしていると思いますか。二人以上の詩人の作品から例をあげて考えるところを述べなさい。
6. 詩がわれわれ読者に伝えようとしているものは、意味内容と情感だけではないとよく言われます。あなたの学習した二人以上の詩人の作品の中から例をあげて、詩が意味内容や情感以外に読者に伝えようとしているものについて論じなさい。

戯曲

7. 劇において主要人物が舞台に登場する場面と退場する場面にはどのような意味が与えられていると思いますか。主要人物の登場と退場の意味するところについて、二つ以上の作品から例をあげて比較し論じなさい。
8. 劇では、登場人物が知っていることと、観客が知っていることとの間に差が生じる場合があります。この差がどのような場面で、またどのような効果をもたらしているかについて、学習した作品から例をあげて考えるところを述べなさい。

一般的設問

9. 学習した作品において、作者の美についての考え（美意識）は作中のどのような語句や表現からうかがい知ることができますか。二つ以上の作品から例をあげて比較し、考えるところを述べなさい。
 10. 社会や地理的な背景にかかわらず、人間が本来もっている性格や本質的な条件といるものがあります。学習した作品から、それらの人間性（人間としての本質）がどのように描かれているかを比較し、論じなさい。
 11. 作者は作品にもっともふさわしいスタイル（文体）を選んで作品を成り立たせます。学習した二つ以上の作品の中から例をあげて、その作品のスタイルとそれが作品に及ぼす影響について考えるところを述べなさい。
 12. 読者をひきつける魅力的な作品は、過去思想や価値観に対して何らかのかたちで逆らっているものが多いという意見があります。学習した二つ以上の作品から例をあげて、考えるところを述べなさい。
-